

人権の21世紀をつくる文化の集い2023



撮影/後藤さくら

女性の権利は 人権に含まれているか？

おはなし **上野 千鶴子** さん
社会学者・東京大学名誉教授

10月20日(金) 18:00開場
18:30開演

きゅりあん JR大井町東口駅前・きゅりあん1階
小ホール 全席自由 / 1000円 手話通訳あり



主催 「人権の21世紀をつくる文化の集い」 実行委員会 TEL 03-3762-7176 後援 大田区、品川区、港区、目黒区

趣 意 書

世界で戦争の惨禍は止まず、その犠牲者は女性・子ども・社会的弱者です。戦争は最大の人権侵害。世界の人権と平和の確立をめざしてきた努力をあざ笑う差別と侵略に打ち勝つのは、あきらめず、知恵を寄せ、力を合わせることです。新しい戦前と言われる日本でも、今こそ戦争を止める不断の努力が求められています。

「人権の21世紀をつくる文化の集い2023」は、差別と闘ってきた歴史から、平和と人権をつくる知恵を学ぶ集いを皆さんと共有し、共に考えたいと思います。

今回は、社会学者で女性学、ジェンダー研究。高齢者の介護とケア研究の第一人者の上野千鶴子さんから「女性の権利は人権に含まれているか？」と題してお話ししていただきます。

東京新聞の記事によると、上野さんが東大入学式の祝辞で「頑張っても公正に報われない社会が待っています」と話したことが中国でも共感を呼び上野さんの著書がブームになっています。上野さんは「中国は激しい競争社会。不公平感や不平等感を強く持っている人が多いと感じた」と話しています。日本の貧困と格差も、コロナ禍と物価高の中で拡大しています。とりわけ、高齢、おひとりさま女性の貧困は深刻で、その権利保障が日本社会の急務となっています。

私たちは、人間が引き起こす差別や偏見を乗り越える英知が人間にはあると信じ、上野千鶴子さんのお話を手掛かりに、共に平和と人権の21世紀の構築を考えていきたいと思ひます。

「人権の21世紀をつくる文化の集い2023」実行委員会

連絡先 03-3762-7176

【賛同団体】

部落解放同盟品川支部・部落解放東京南部地区共闘会議・NPO法人じんけんウェブ・沖縄の闘いと連帯する東京南部の会・部落解放を進め民主主義を守る会・全芝浦屠場労組・品川高退連・泰宗寺・天理教東京教区啓発委員会・東京交通労働組合・東京平和センター・

【賛同人】

谷口滋・高城順・青木初子・小野寺れい子・高橋篤子・高橋琴絵・金沢茂雄・藤村妙子・矢羽亮一・岩永ひろ子・仲田明子・片桐健司・朝倉泰子・坂本道夫・林健・平林麻美・馬場裕子・市川祐純・安藤達也・木島孝子・

(6月10日現在)